



大神様の御降臨を乞い願われる斎主教祖様
大和教本廳修練道場仮神殿

平成二十二年・新年の御神託祭



御祖の教え

新春・第三十七号

《発行》
宗教法人大和教本廳
〒985-0053 宮城県塩釜市南町6-5
TEL.022-362-1392
FAX.022-362-2991
編集 広報部
印刷 仙台市泉区加茂5-16-6
東日本スポーツ新聞社
定価 1部 50円

とどく祈り

とどく供養

大神様より

尊いお言葉を拝戴

大和教新春恒例の新年の御神託祭は、一月八日、月次祭終了後、午後二時半より修練道場仮神殿に於て厳かに斎行。新春の神気ただよう大前にて斎主教祖様により、大和御祖大神をはじめ被戸大神、大年大神、大黒神大神等をお迎えして、約一時間に亘って一年間の数々の尊いお言葉を賜りました。
なお、大黒神大神は、参列者のうたと共に、教祖様により大黒舞いを舞って新年をお祝いされました。本紙では「今年の世の動き」として掲載致します。

主要部要約

今年の世の動き

新年の御神託祭のお言葉より

信者・役員等へ：厳しい世にあつて、誰しも心をひきしめ前向きに教えの道に従い、油断、怠り、手落ちなく進みゆくこと。常に一から十、一から百まで手を取り足を取りての教えられ方、人頼みではなすまい。又、学び修めの不足があつてはならぬぞ。
役員等にあつては、信者等の指導教育をなし、横の連絡、仲間意識をもつて学び修めをなすがよい。信者等の精神向上のために、今年は基本から勉強会を開催せよ。
我が教え、導きに従い努力するものには、必ずや幸せの道、繁栄の道の後押しをしやる。
政治：今、世の中は正常ではない。自分のことばかりを考え、国全体、先見の目をもって政治に当

たる者が少なし。他の批判、非難はするが、協力して国民一人一人が安心安泰の国に成そうとする者少なきぞ。
政治の長たる者は、支援支持者等の心迷いにより、先に進まないことが見受けられる。しかし一時的な改革では事は進むまい。現状をしっかりと掌握して進み行かねばなるまい。
経済：混乱し行く。しかし、それぞれに無駄を省きつつ努力し行けば、ゆとりがないわけではない。現在持ちあわせている物を活かして行くこと。総てに命があり、総ての命を大切にという気持で使わぬこと。不自由なく暮していくことが可能となるぞ。
病氣：現在、癌の病いにて

悩み患つ者にあつては、必ずや良き方に回つ良き手立てもある。よくよく教祖に相談をなすつ、病い平癒のみちを執りおさめよ。
陸・海・空の事故事件：点検の不足があれば大きな事故も出る。出歩きには十二分に注意せよ。大難を小難と為すためには、学び修めたことを活かして、悪き数、日、時間、危なき数字を用いぬよう努力して除け、心の乱れに注意である。一、三車を破損する者が出よう。しかし、身体には影響なしと見受けられる。
火難：年寄り、幼な子供がいる家では十二分に注意せよ。特に三月半ば過ぎに注意せねばなるまい。
海難：細かい事故が入江にても起こる。大きい事故は外国にて見られよう。
海の漁：ますます外国より輸入せねばならぬ。
思うようにならず苦難となるぞ。
環境問題：電力、ゴミなど、総てに於て個々人の心掛けにより改善し得る。子孫、将来のことを思えば改善も出来得よう。
作物：気候の変化で、これまで豊作だった所も今年は大いに変化を為す。農薬、外国からの菌、生き物に十分注意せよ。

迎春



平成二十二年 元旦

宗教法人大和教本廳

管長 保積 昌夫
教祖 保積 敬子
責任役員
光永 輝彦
矢部 勇
鈴木 陸男

御造宮奉賛
委員 会
会長 三升 正直
委員長 中村 望
役員一同

建設委員会
委員長 矢部 勇
役員一同

名誉総代 齋藤 忠良
信徒会名誉会長 三浦 金一

信徒会
会長 千葉 藤男
副会長 鎌田 孝一
角田 芳一
杉田 公子
渋谷みゆき

大和教本廳職員一同 役員一同



新年あけましておめでとうございます

神仏に喜んで

もらえる心づくりを

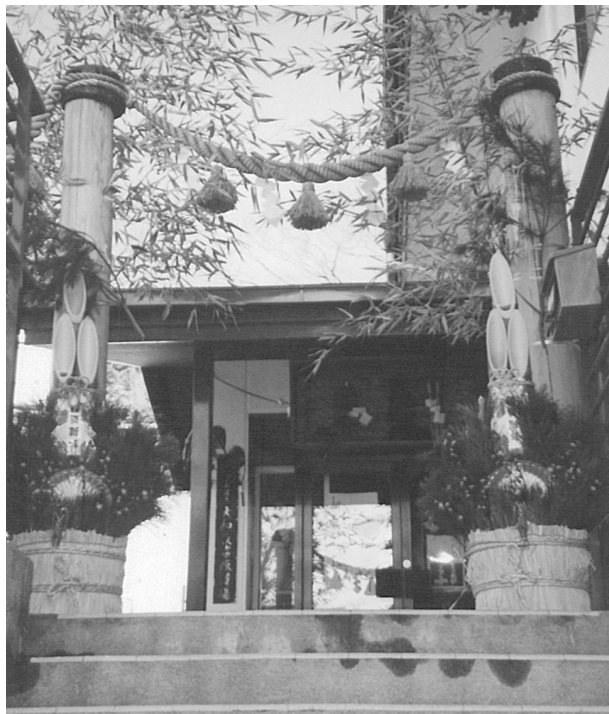
責任役員 光永輝彦



光永輝彦氏

こころ新たに新年を迎えられお慶びを申し上げます。 混迷の時代、長寿化の時代にあつて「人がその人らしく」幸福感を持つて生きることの大切さが求められ

る時代です。 二十一世紀は人の時代であることは確かで、世の中の組織を動かすのは人であり「人間力」であるからです。 私たちは、宗教学者大和教本廳との関わりの中で、「心づくり」「気づき」「和心」「感謝」等につき学び、御指導を受ける機会を得ていることは大変ありがたいことでもあります。



ひときわ清新なお正月の松竹飾り 大和教本廳修練道場前境内地

東洋思想の研究者安岡正篤氏は、我々は天地の恩、人間の恩、道の恩、教えの恩など、あらゆる恩の中にあり、絶えず報いてゆく生活が大切であると説いています。

教祖様、管長先生から大和御祖大神様の教えを学び、御加護をいただき、御先祖様に感謝をする習慣を身に付ける意義を深く感じる次第であります。

新年にあたり、神様、仏様から喜んでもらえる心づくりを、日頃の生き方の中で実践することが、道の恩、

教えの恩に報いることと心に刻んだ次第です。

今年こそ教祖様、管長先生の長年の願ひであり、信徒の皆さんの希望でもあります、御神殿御造営の実行の年であります。

一人でも多くの皆様の深い理解と協力を得まして、大神様への報恩と感謝の念を形にあらわしたいものと願っております。

人の心は一生変化し発達するもので、皆さまの新年が健康で元気な生涯現役型の年であることを心から祈念致しております。

御神殿御造営の 新年に当って

責任役員 建設委員長 矢部 勇



矢部 勇氏

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

大神様の限りない御守護を賜わりながら、皆様方と共に新年を迎えることが出来ましたこと、深く感謝申し上げます。

大和教本廳の御神殿御造営は、教祖様、管長様の長年にわたつての宿願であります。ご承知のよう旧御神殿

はすでに解体され、関連の諸工事も完了致し、新しい御神殿の着工を待つばかりとなっております。本年はいよいよその着工の運びとなります。

平成十七年九月、御神殿御造営建設委員会の設置に伴い、建設委員長の任に当って参りましたが、年明けと共に重大な責務と身の引きしまるような思いを新たに致しておるところです。

御神殿は、申し上げるまでもなく、ご祭神・大和御祖大神様をお祀りする御社であり、私ども大和教信仰の一番の中心となるところであります。

大和教本廳開教以来の一大事業として、私ども信者一同こそつてその大きな意義に思いを致し、これが見事な完成を心から祈念申し上げる次第です。

大神様は、新しい御神殿の完成により、なお一層の御神威を發揮して下さるものと固く信じております。

ご信者の皆様の一役のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。 新年の御挨拶と致します。

皆様方のご健勝をお祈り致し、本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



月毎の行事案内

月参り(一日)

毎月の月初めにあたり、信徒一人一人が家内安全を初めとして諸願成就を祈願致します。参列者は全員ご神託を頂きます。引き続き霊様の供養霊下ろしが教祖様によって執行行われます。

参列出来ない方は、電話・FAXにて受付致します。

月次祭(毎月第二日曜日)

月次祭は、大神様のお恵みに感謝し、尚一層の御加護を戴くよう、護摩祈禱火祭を執り行います。護摩木に一人一人の名前を書き、火祭り祈禱致します。特別祈禱も教祖様の手によって一件づつ、祈願されます。

祈願料 (一人)三〇〇円

紅白護摩 紅白でめでたく

染まる大変縁起の良い護摩です。一対二、〇〇〇円

特別祈願料 祈願に応じた初穂料。

供養祭(二十三日)

毎月二十三日、先祖供養を初め万霊供養の霊祭を執り行います。塔婆を書き、お花供物を捧げて、霊様の成仏浄化をお祈り致します。特に春彼岸、秋彼岸には、三尺塔婆に供養を託し、お焚き上げを致します。

供養料(一柱)三〇〇円

塔婆供養(一柱)一、〇〇〇円

(一柱)大)三、〇〇〇円

他に特別供養も致します。

信仰体験記

数々の念願が
思い通りに

大神様 教祖様の
御力に支えられて

〔塩釜市〕 加藤 文子



加藤文子さん

夫の心臓大手術

大和教の社に初めて詣でたのは、今から二十年ほど近く前の平成二年の夏でした。主人がその年の十一月末に心臓の手術を受けることになつており、不安やら心配が入りまじつて、毎日がとても辛く暗い日々でした。

病院で最初に手術の説明がなされ、なお一層の不安が増してきたのです。それは胸を切開し、心臓を取り出し傷まないように氷水につけて、冷やしながら手入れをし、丈夫な血管でバイパスをつくり、人工の心臓をはずして、自分の心臓とドッキングさせ

ネ、でも大丈夫だから。こちらの大神様、教祖様の御力はすごいですから。必ず良くなりますから信じなさい」と言われたのです。この一言で私の気持はスーッと楽になり、勇気づけられたことが今でもはつきりと忘れることができません。

教祖様による大神様の言葉では、方位の災い(他市よりの移転新築)土地の不浄、立ち寄っている稲荷大明神様と霊様の災いを被っているとのこと、はじめてのことだったので内心驚きと半信半疑の心境でしたが、お言葉を守つて先ず反省とお詫び、御祭と供養を一生懸命に実行、実践させていただきました。

お蔭で手術の経過はともも良好で、あまりにも快復が早いので、お医者様からは「気味の悪い患者さん!!」と言われたくらいです。一ヶ月の入院で無事退院致しました。現在八十一歳になります

がとも元氣です。すべては大神様、教祖様の御力、御加護の賜ものと、有難いやら嬉しいやらで、その時の気持をつまく表現することはできません。ただただ感謝の気持で一杯でした。

孫の転落事故

二年ほど前のことですが、家に遊びにきていた当時二歳の孫が、二階から真つさかさまに落ち、こちらは心臓が止まるほどの驚きでしたが、お

でこが一寸赤くなつた程度で、怪我もなく助かつたのです。やっと授かつた孫でしたので「事故に遭わないように、怪我をしないように、素直に生長しますように」と、毎朝お祈りをしていましたので、このようにお護りをいただいたものと非常に有難く思つております。この時、娘に護つていただくということとは、こういうことなのと言ひ聞かせましたら、余り信仰心のない娘ですが、神棚に手を合わせて深く御礼を申し上げておりました。

平穩で幸せな日々

私の場合でも、以前はなぜか総て裏目裏目に出て、人生を、世の中をはかなんだことがありました。でも今は違います。細かいことですが、失せものは一〇〇パーセント必ず戻つたり、そのほか何かと好調で、かつて勤めた所も六十歳定年でしたが、八年間も延長してくれ、退職の時は盛大な送別会、高価な記念品まで頂戴し、とても幸せ者だと思つております。それに二人の子供は良き伴侶に恵まれ、孫も授けていただき、常に大神様から御加護をいただきながら、平穩で幸せな日々を送らせていただいております。それもこれも人間として大切な信仰心、感謝の心、真心の精神を養つていくという大和教の御教えのお蔭と実感致しております。

大神様、教祖様からいただくお言葉、お諭し、そして出席者の方々の体験談や世相のお話しを拝聴させていただくことができ、知識を身につけることができますので、お社参りはとても楽しく思つております。

冠婚葬祭の「あゝあゝ」です

日頃より大和教本廳の管長様、教祖様、並びに信徒の皆様にはお世話になっており、紙面をお借りいたしました。感謝申し上げます。私どもは冠婚葬祭互助会の株式会社あいあーる(旧平安互助会)でございます。昭和三十六年の創業以来、はや半世紀地元仙台の喜びと悲しみのお仕事を担つてまいりました。今後皆様のお役に立てますように努力してまいります。

互助会はお得な仕組みです。月々わずかな積立金で多大な出費が予想される婚礼や葬儀に備えることができます。市価よりも安価で行うことが出来、突然のことにもあわてることはありません。し

かも経済産業省認可事業ですから皆様方よりお預かりした掛金は法の定めにより保持されます。安心安全の「あいあーる」にどうぞご加入ください。

一例 あいあーるプラン三六 月々の掛金二〇〇〇円から五〇〇〇円までの四タイプ(満期金額はとも三六万円)

利用可能施設
パレスへいあん(結婚式・ご宴会)
葬祭会館セレモール(会館葬儀・ご法要)市内六カ所
平安祭典(ご葬儀・ご法要)

お問い合わせは
あいあーる平安祭典(担当金谷)〇二二二一六 一〇二二二二まで。
お気軽にご用ひ。

ます。これからも微力ながら奉仕の心を持ち、大和教の信者であることを誇りとして、一日一日を悔いのないよう過していきたくと念願を致しております。

いじろに

ビタミンを

責任役員 鈴木 陸 男

鈴木 陸男氏

「健全なる精神は健全なる身体に宿る」とよく言われますが、本当はこの後に「ことが望ましい」と続くのです。

この言葉は、ローマの詩人ユヴェナリスが、あまりにも栄え類廃的になった当時のローマ人を嘆き、古代ギリシャのアテネ人が目標とした心身共に調和的に発達した市民を慕って歌った詩の一片です。この言葉だけでなく、名言や格言の類でその一部や略された部分が広く世人に話題に上って賞賛され、元の意味が異なったりする例がよくあります。

前述の言葉だと「健全なる精神」は「健全なる身体」にしか宿らないことになってしまいます。世の中には「健全なる精神」を持ちながら「不健全な身体」や「短命」であったり、反対に「健全なる身体」に「不健全なる精神」が宿っている不幸な例も少なくありません。

ところで、人体の能力は地球上に人類が現われてからの約四〇〇万年の永い間にも、それ程変わってはいないので、人体の構造や機能が殆ど変わっていないからです。

一方、精神の機能である人間の智慧は恐ろしい程にまで科学を発展させ、豊富な物と便利さを人間に与えましたが、他方で事故や戦争の悲惨さと犠牲者の増加を招き、地

“ W Œ Y ”

せいじょう

参道の中央は

神様の通り道

神さまをお参りする際には、手水舎(てみずやともいう)で手を洗い、口をすすいで、心身を清めてからご神前に向います。

このご神前に向う道を参道といいますが、そして、参道の中央は歩かないように

するのが神さまに対する礼儀とされています。

参道の中央の通りを「正中」といって、ここは神さまの通る道とされているからです。

ただし、ご神前で拝礼をする時は正面に立つてもかまいません。

大和教本廳の祭事の時など、参列者がご神前へ中央を開けますが、そこは神さまが通る所として開けておくのです。

球環境の破壊をもたらすことになってきました。この状態では二十一世紀の明るい夢が消えるのみでなく、人類滅亡の杞憂さえ生じかねません。

知恵の進歩に相心しい正しい理性と豊かな感情が伴わないことが原因であり、それらの調和がとれてこそ「健全な精神」であることは言つまでもありません。今、科学の進歩は多くの疾病を克服し、人間の寿命を限界近くまで延ばしています。益々精神の健全さが重要になるのではないのでしょうか。

誰も、が物の豊かさへの反省と心の豊かさが求められます。

口頃信仰を志す私達は尚にも健全なる精神を養い、甲斐ある人として二十一世紀の中核を生きてゆきたいものです。

春彼岸塔婆大供養祭

三月二十三日

午前十一時より

「先祖様をはじめ有縁無縁 水子、幼子、万物一切の霊等の浄化安穩をはかり、供養の誠を捧げ、私たちの幸せを祈ります。」

教祖様の

お言葉より

春季例大祭

五月八日

午前十一時より

春に斎行される例大祭で、「祭神である大和御祖大神様の御神威の発揚と、信徒の皆さま方の諸願成就を祈請致します。」

仙台教会

教祖様による

勉強会

左記のように仙台教会で教祖様による勉強会を開催致します。「ご参加をお待ち致しております。」

・会場 大和教仙台教会

仙台市青葉区本町二丁目十 十五 七キ
トクビル三F

・お申し込み

大和教仙台教会

TEL〇三二七三三 七二五五

大和教本廳

TEL〇三二三六二 一三九二

編集後記

新年おめでとございませす。

一月八日、今年も教祖様により新年の御神託祭が斎行されました。第一面にその要旨を掲載致すことが出来ましたが、本一年間を生きていくための糧としてください。

年は明けましたものの相変わらず暗たんたる暗い世相と言わざるを得ません。暗さの中では誰も明りや光が必要とされます。よく「信仰」は暗闇の中の 明りや 光 にたとえられますが、このような時こそ信仰による 明り や 光 の強く求められる時です。

大和教の信仰を、信者であることを非常に誇りとされている加藤文子さんの信仰体験記、どうもありがとございませす。信仰体験こそ信仰の有難さを伝え、物語ってくれるものはないと思ひます。本年も「御祖の教え」と共に宜しくお願い致します。

気持良く 清々しく 楽しく 幸せと生きよう